

所属名	事務事業名	ページ番号
企業立地課	企業誘致推進一般経費	2
企業立地課	企業立地支援事業	3
企業立地課	オフィス環境整備事業	4
企業立地課	工業団地調査経費	5
企業立地課	アイスクエアビル維持管理事業（3・4・5階）	6
企業立地課	工業用水道事業会計繰出金	7
企業立地課	佐賀駅周辺活性化事業	8

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	企業誘致推進一般経費	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	企業立地課 企業誘致室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	企業誘致により、新規雇用の創出、税収増加及び市内経済の振興を図る。				
事業の対象者	製造系及び事務系（IT系）企業				
令和6年度 主な活動実績	誘致活動に加え、佐賀市を印象付ける映像を制作することで、佐賀市の強みや魅力について広く情報を発信し、進出先としての佐賀市の認知向上及び理解促進を図った。 ・学生に佐賀の優れた企業を知ってもらうため、学生×IT企業交流会を開催 1回 ・企業誘致コンテンツ制作等業務				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,401	9,492	14,807	15,221	14,541
うち佐賀市の負担額	4,401	9,492	14,807	15,221	14,541

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
進出・立地協定締結企業数						社
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	5 2	5 6	5 7	5		

成果指標②						単位
進出企業の雇用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,842	3,882 3,673	3,922 3,686	3,962 3,748	4,002		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	佐賀大和IC工業団地が完売し、企業誘致に供する産業用地がなかったことなど、複数の要因が重なり、進出・立地協定締結企業数については0件となった。一方で、進出企業の雇用者数については、企業への継続的な人材確保支援の成果が出てきている。

今後の改善策、対応策等

今後成長が見込まれる業界や若年層の求職ニーズなどを的確に把握し、地域経済に好影響を与え、多様で魅力ある企業へ適切な誘致活動ができるよう手法の改善を図る。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	企業立地支援事業	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	企業立地課 企業誘致室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	利子補給金をはじめとした進出企業に対する優遇措置を講ずることにより、工場等の立地を奨励し、本市における産業の振興及び雇用の拡大を図る。				
事業の対象者	佐賀市が誘致対象としている企業				
令和6年度 主な活動実績	利子補給金をはじめとした進出企業に対する優遇措置を講じた。 ・利子補給金 4社 2,020千円 ・建物賃借料補助金 7社 4,997千円 ・立地奨励金 4社 429千円 ・雇用奨励金 2社 4,000千円 ・設備費補助金 2社 7,940千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	58,491	66,753	32,040	13,855	19,386
うち佐賀市の負担額	58,491	66,753	32,040	13,855	19,386

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
進出企業の雇用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,842	3,882 3,673	3,922 3,686	3,962 3,748	4,002 3,939		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	当事業による各種補助が一助となり、設備投資拡大等による進出企業の事業拡張機運が醸成され、雇用者数は右肩上がりに伸びているものの、近年の人手不足により本市から都市圏への人材流出が顕著となっており、目標値は達成できていない。

今後の改善策、対応策等

今後も誘致対象企業のニーズや社会情勢に応じた優遇制度とするため、他地方公共団体の優遇制度の調査分析を行い、制度の改善に努めていく。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	オフィス環境整備事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	企業立地課 企業誘致室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	企業誘致用賃貸オフィス施設を整備する事業者に対して、整備に係る費用を県と共同して補助することにより、IT関連等企業の立地を図り、本市産業の振興及び雇用の創出を図る。				
事業の対象者	企業誘致用賃貸オフィス施設を整備する事業者				
令和6年度 主な活動実績	奨励措置	企業数	金額	当初	補正・流用
	オフィス環境整備費補助金	1	7,266,000		7,266,000
	※【R6. 1 2 補正】 ・オフィス環境整備費補助金 7,226千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					7,226
うち佐賀市の負担額					7,226

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助実施企業数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		1	1	1		
				1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	本事業は整備を計画する賃貸物件と入居を予定する誘致企業のマッチングに困難を要したが、今年度 1 件実績を作ることができた。

↓

今後の改善策、対応策等

本事業は当初から佐賀県の「佐賀県オフィス環境整備費補助金」と目的及び事業期間を合わせ、令和 4 ~ 6 年と 3 ヶ年で債務負担行為を設定していたとおり、令和 6 年度をもって終了とする。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	工業団地調査経費	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	企業立地課 新産業団地推進室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	工場等を誘致する際の基盤のひとつとなる工業団地開発に関連し、現況調査や測量調査等を行う。				
事業の対象者	工業団地、またはその候補地等				
令和6年度 主な活動実績	新たな産業用地の開発に向けて、市内全域を対象に適地調査を実施した。 開発の可能性のある地域を抽出するため、交通アクセス性や産業インフラ整備の必要性、工業団地としての優位性など様々な面から評価を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,802	1,858	4,860	5,445	2,662
うち佐賀市の負担額	2,426	1,858	4,860	2,723	1,480

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
工業団地開発可能区域面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
14.5	14.5 14.5	14.5 14.5	14.5 14.5	14.5 14.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	佐賀大和 I C 工業団地の全区画が完売した。 新たな工業団地開発可能区域面積の設定が必要である。



今後の改善策、対応策等
佐賀大和 I C 工業団地の分譲が完了したため、新たな工業団地の確保が必要となる。 そのため、令和 5 年度から市内全域を対象として適地調査を実施している。引き続き調査を継続し、新たな工業団地開発可能区域面積を設定する。

令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	アスクエアビル維持管理事業（3・4・5階）	事業期間	平成 14 ～ 年度
担当部署・係名	企業立地課 企業誘致室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	企業誘致と新産業の創出	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	アスクエアビルの利用者が安全・安心に利用できるように維持管理を行う。 市専用部分のうち、1階及び全体の維持管理は財産活用課、3～4階は企業立地課、5階は経済政策課が窓口となり、3～4階は企業誘致を目的として貸し出している。				
事業の対象者	アスクエアビル利用者				
令和6年度 主な活動実績	令和6年度から専有面積の割合に応じた予算按分を行っている。（企業立地課 60.44%） ・施設等維持管理業務委託：39,795,500円（運転監視、点検業務、衛生管理、警備、清掃、修繕等） ・光熱水費：3,999,932円（電気、上下水道、ガス使用料） ・緊急修繕等（市専有部）：12件（空調・給排水・照明設備等の不具合） 誘致企業の入居（R7年4月）に向け、4Fフロアの環境整備及び改修工事を実施 ・測量設計等委託料及び工事請負費：22,965,800円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					68,712
うち佐賀市の負担額					40,320

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
緊急修繕等件数（市専有部）						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
					11	
					12	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	財産活用課及び経済政策課並びに委託先と連携し、適正な維持管理が達成されている。

↓

今後の改善策、対応策等

財産活用課及び経済政策課並びに委託先と連携し、誘致企業の要望に応え、適切な施設の維持管理を行う。

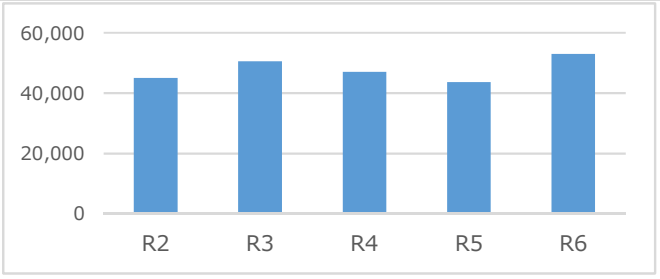
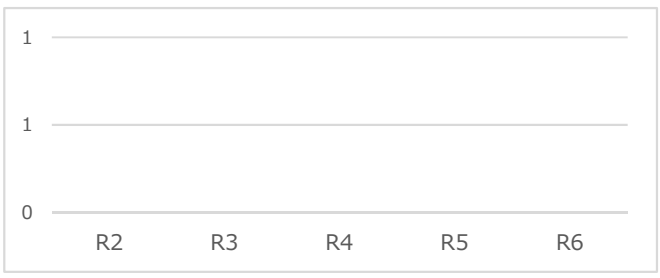
令和7年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	工業用水道事務事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	企業立地課 新産業団地推進室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	富士町南部工業団地へ用水供給を行っている佐賀市工業用水道事業に対し、該当事業の経営安定化を図るため、繰出金を支出するもの。				
事業の対象者	工業用水給水対象企業				
根拠法令等	地方公営企業法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	9,026	9,012	8,297	18,289	9,226
うち佐賀市の負担額	9,026	9,012	8,297	18,289	9,226

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
工業用水給水量					t	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
44,979	50,542	47,012	43,673	52,916		
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>令和6年度は、企業のニーズへの対応として新たな水源整備を行ったため、事業費、給水量ともに増加した。需要の増加に伴い工場の拡張を計画している企業もあることから、今後も給水量の増加が見込まれている。</p>
--

令和7年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	佐賀駅周辺活性化事業	事業期間	令和 1 ~ 年度
担当部署・係名	企業立地課 企業誘致室	担当課長名	片江 順一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	旧西友駐車場敷地（約1.1ha）の一部を令和4年3月に取得しており、地権者と共同で当該地へ民間開発の誘導を目指している。 また開発に着手するまでの間、当該地を有効活用するため駐車場事業者へ土地を貸し付ける。（駐車場として暫定利用） <対象地概要> ・名称／JQパークス佐賀駅南口 ・期間／令和4年4月1日～未定 ・駐車可能台数／351台（面積 10,113.08㎡（うち市有地3,662.02㎡））				
事業の対象者	市民・来街者				
根拠法令等	佐賀駅周辺整備基本計画				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	105,652	728,725	4,575	709	5,024
うち佐賀市の負担額	105,652	716,706	4,575	709	5,024

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
駐車場利用台数					台
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
464,865	679,355	716,776	740,982	700,129	

活動実績②					単位
駐車場収入（R4以降は土地貸付料収入）					円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
62,116,565	75,927,800	39,591,171	49,664,405	52,062,397	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

・駐車場利用台数については、令和5年度実績に比べて約6%ほど減少しているものの、駐車場収入は人の移動の活発化による駅利用者の増加やSAGAアリーナでのイベント来場者による長時間駐車が増えたことで、約5%ほど増加している。

・開発誘導については、コロナ禍の収束により、前向きな意見も聞かれるものの建設費高騰の影響が大きく、新規開発案件の事業採算性の確保が難しくなっている。そのため、現段階で公募開始時期の見通しが立っておらず、引き続き開発事業者へのヒアリングを実施し、公募開始時期を見極める。

・開発に着手するまでの間、引き続き当該地を有効活用するため駐車場事業者へ貸し付ける。（駐車場として暫定利用）